

むつみ

無所属 尼崎市議会議員 すだ 和 のわくわくねっとニュース

市政・議会をもっと身近に

2017年冬号



むつみ

発行責任者：須田 和 / (市議会議員2期目・元 女性センター・トレピエ所長)

尼崎市議会「緑のかけはし」

〒660-8501 尼崎市東七松町1-23-1

議員室電話：06-6489-6950

mutsumi.suda@energy.ocn.ne.jp

南武庫之荘在住/元女性センター・トレピエ所長 (民間人初)

お問合せフォームがあります。http://suda-mutsumi.com/



お元気ですか？ すだ 和 (むつみ) です。

市に対して要求や批判ばかりをするのではなく、市民＝生活者の視点で、提案していく議員でありたいと活動しております。政党や政治団体には所属もしておりませんし、推薦などももらっておりません。「無所属」だからこそ、市政に関する課題について、おひとりお一人の声を聴き、調査し、考え、取り組んでいます。

女性センターが、2004年7月に民営化され、公募選定によってNPOが指定管理者として運営を開始しました。それまでに勤務していた県の男女共同参画センターの専門職や各自治体の公職を務めていた経験を買われ所長として着任しました。2005年から、阪急武庫之荘駅南側に暮らしています。

生まれ育ちは広島県ですし、その後、進学や就職、転勤ほかで複数の自治体に暮らしました。よそのものだから、転入者だからわかる尼崎のよさのPRや優先すべき課題について、提案したいと思います。

1.17 午前5時46分 神戸東遊園地で



2016年10月に「自治のまちづくり条例」が施行されました。前文の一部を要約すると…く私たちのまち尼崎は、原始から人々が暮らし始め、中世にかけては海陸交通の要衝、近世には阪神間唯一の城下町、近代には日本有数の工業都市として発展してきた。発展とともに多様な文化、価値観等が生まれ、一方で、地域社会の一員としてまちづくりに関わろうとする意識や人々のつながりが希薄になった。自分たちの地域をより良くしていくための役割が私たち一人ひとりにあるという自覚と行動、地域コミュニティにおけるお互いの尊重と支え合い、市民等の参画と協働という自治の力が必要とされているからこそ、ともに学び、考え、それぞれの力を出し合い、誰もが希望と誇りを持って健やかに暮らしていくことができる尼崎を築いていこうというものです。市民が主役、みんなに出番があるというこの条例、まずは、議員も含めた市民と行政の職員の自覚から始まるものだと、私は心に銘じております。



毎週土曜朝、武庫之荘向上委員会・住民有志が武庫之荘駅南側の清掃活動をしています。「 Gondola型噴水修復も市民自身の手で」とイベントも開催され、2016年12月、市から「まちかどチャタリング賞」が授与されました。



1. DV、性暴力等の被害女性への支援について

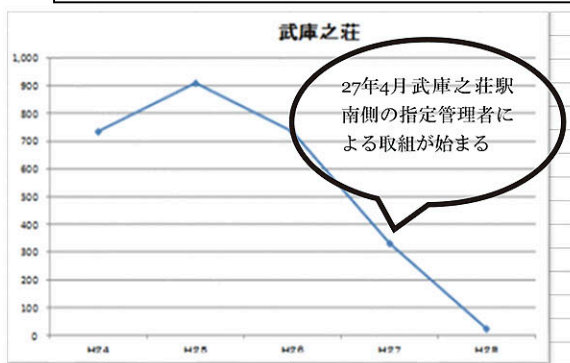
- ・被害者救済のための課題認識、解決のためのとりくみについて市の姿勢。
- ・性暴力被害者支援センター・ひょうご市との連携。
- ・市民が入所したシェルターに対しての補助。
- ・DVネットワーク会議に救急隊を所管する消防局の参画も必要ではないか。

2. 市制100周年について

- ・100周年記念事業基本方針の基本理念「想いの蓄積を力の源泉」にできたか、「市民が愛着心を改めて抱く」ことができたか。
- ・「みんなが主役」をコンセプトとして、事業実施はできたか。
- ・市民・事業者・行政が「自治のまちづくり条例」の理念を実行するため、どのように取り組むか。

3. 市民の学びの成果を地域に生かす施策について

- ・学びの場を提供した講師等による自己評価に基づく評価ができないか。
- ・日程が合わない、その場に行けない市民のための取組は。
- ・オンライン配信・ウェブ録画を登録者にみせることなど検討できないか。
- ・今後大勢の講師がかかわっていくが、報酬の有無などの差についてどう考えるか。
- ・民間のカルチャーセンターなどが競合しながら有料講座のメニューを提供する中で市が主催する「市民大学」の意義は。
- ・「みんなの尼崎大学」は、まちづくりにつなげる人材育成を目的に行われるか。
- ・「市民大学」は、まちづくりにつなげる人材育成を目的に行われるか。



兵庫県作成の店内禁煙のステッカー

▶主要ターミナル駅周辺の放置自転車は減っています。左図、武庫之荘駅周辺放置自転車台数のグラフ(市放置自転車対策作成)をご参照ください。住民の声を受け、指定管理者制度を導入し、指定管理者が放置禁止、空き駐輪場の案内、撤去などを熱心に取り組んだ結果です。私がかつて務めていた女性センター・トレピエが市内では指定管理者導入第1号の施設ですが、公共施設を民間のノウハウやアイデアでより効率的に、より効果的に運営することが目的とされています。私も初代の指定管理者の所長として、2004年からの約5年間、トレピエをいっそう頼りにされる施設へと努力いたしました。▶路上禁煙について多くの市民からご要望を聞いています。兵庫県受動喫煙防止条例により、飲食店で禁煙や分煙を実施されるところは増えてきています。健康のため、受動喫煙防止のため、よりよい環境のために、路上の喫煙防止について取り組むことが課題です。放置自転車対策のように成果がでる取り組みを考え、住民のみなさまの声を施策へとつなぎます。